

## 車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法のあり方検討会、 中間とりまとめを発表

# OBD 検査制度の方向性が示される

国土交通省が開催している「車載式故障診断装置を活用した自動車検査手法のあり方検討会」は、このほど中間とりまとめを発表しました。

有識者、自動車検査実施機関及び関係団体の代表者によって構成された同検討会は、運転支援技術などに多く用いられている電子装置の故障や不具合を検知することを目的として、車検時における車載式故障診断装置（OBD）及びOBDに記録された故障コード（DTCコード）を活用した検査（OBD検査）手法などについて議論してきました。

昨年12月に開催された検討会の第1回目には、事務局（国交省自動車局整備課）から、「OBD検査は、車検時にOBDを活用して、道路運送車両の保安基準に定める性能要件を満たさなくなる不具合を検知することを目的とする」という検査の目的が示されるとともに、OBD検査導入に当たっては、①DTCについてはこれまで通り、自動車メーカーが自由に設定できることとした上で、②このうち、OBD検査の対象装置が保安基準に定める性能要件を満たさなくなる不具合に係るDTC（特定DTC）を予め届け出てもらい、③車検時に特定DTCが検出された場合に、検査不合格とする、という基本方針案が提示されました。

今回の中間とりまとめ（右表）は、それらの方針を受けた検討会の審議を踏まえたものです。

同検討会では今後の検討課題として、「OBD検査で不合格とすべき『故障』の詳細定義」及び「車検時に特定DTCを読み取る手法の実施面の検討・検証」を提示し、

特定DTCの運用等に係る専門家WGの設置や、特定DTC情報の取り扱いに係る検証実験の実施などによって、検査制度の詳細な検討・検証をしていく方針としています。

今後の検証及び進捗状況などによって、その内容や実施時期が変更となる可能性は

ありますが、OBD検査制度実現に向けた準備は確実に進められています。

検討会では本年10月ころに最終とりまとめを報告する予定としており、今後の動向に注目したいところです。

## 中間とりまとめで示されたおもな内容

### OBD 検査の対象とする自動車

- ① 型式指定自動車又は多仕様自動車
- ② 乗用車、バス、トラック（M1、M2、M3、N1、N2、N3）
- ③ 2021 年以降の新型車

※適用日については、自動車側の対応や検査実施機関・自動車整備工場における準備に要する期間等を考慮して、変更があり得る。

### OBD 検査の対象とする装置

対象自動車に搭載される以下の装置を OBD 検査の対象とする。

ただし、以下の装置であっても保安基準に性能要件が規定されていないものは、当該要件が規定されるまでの間は OBD 検査の対象としない。

- ① 排出ガス等発散防止装置  
（道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第 41 条及び第 119 条並びに別添 48 に規定された装置）

#### ② 運転支援技術

- ・アンチロックブレーキシステム（ABS）
- ・横滑り防止装置（ESC/EVSC）
- ・自動ブレーキ（AEB/AEBS）
- ・ブレーキアシストシステム（BAS）
- ・車両接近通報装置

#### ③ 自動運転技術

- ・UN/ACSF で審議され UN 規則が成立した自動運転技術（Category A,B1,C）及び緊急操舵技術（ESF）

このほか、上記装置への OBD 検査の導入状況及び現行の車検手法の効果を見極めた上で、将来、以下に掲げる装置についても OBD 検査の対象とする可能性がある。

- ・車線逸脱警報装置（LDWS）
- ・オートライトシステム
- ・先進ライト（自動切替型、自動防眩型、配光可変型等の前照灯）
- ・ふらつき注意喚起装置
- ・視界情報提供装置（バック／サイドカメラ、アラウンドビュー等）
- ・車両周辺障害物注意喚起装置（周辺ソナー）
- ・運転者異常時対応システム

### OBD 検査の開始時期

2024 年以降（検査開始時期は実証実験等を踏まえて変更があり得る）

# 工場 ルポ

## 事業の拡大と 業界全体の発展を 目指して

### 有限会社タケモト車体

代表者：竹本行雄社長  
所在地：石川県小松市城南町53-1

#### 工場認可・認定の取得を通じて 企業体質を強化

1977年に創業した(有)タケモト車体は、整備認証工場認可や優良自動車整備事業者(特認一種)の取得を通じて、コンプライアンスの強化及びサービス対応力の向上を図ってきました。またスタッフの健康と周辺環境への配慮から、約10年前に水性塗料を導入しています。

その後、地域環境や依頼される仕事内容の変化を受けて、2013年に工場を移転しました。「大型車の補修や防錆処理の依頼を打診されるようになりましたが、前の工場では大型車に対応するスペースがありませんでした。工場の増設も考えましたが、大型車を搬入するには道幅も狭かったため、移転を決めました」(竹本行雄社長)。

新工場には、塗装ブース1基、ジグ式ボデー修正装置1基、ホイールアライメントテスター1基などを導入しました。現場スタッフは钣金3人、塗装2人、整備1人の6人で、钣金塗装の月間平均処理台数は約80台です。

昨年には、同社が所属する钣金塗装の全国組織が推進する工場認定を取得しています。「この工場認定を取得するためには、特定の設備機器を所有するだけでなく、労働環境や地球環境への配慮などコンプライアンスへの対応が必要でした。工場認定の取得は、自社を見つめ直すいい機会となりました」と、工場認定の取得を自社の体質改善につなげています。



#### リサイクルパーツの活用

損保各社からの入庫誘導を多く受け入れている同社では、「自費修理を選択するお客様にはまず、リサイクルパーツを勧めています。NGPリサイクルパーツを使用した修理は、品質と価格の両面から顧客満足につながり、車検などの次回サービスにつながっています」と、NGPリサイクルパーツを積極的に活用しています。

さらに同社はNGPベルマークサポーターとしても活動しており、収集したベルマークを近隣の小学校へ提供するなど、地域貢献にも努めています。

#### 業界全体の課題解決に尽力

常に技術の研鑽に努め、各種団体などを通じて全国で钣金技術を指導してきた竹本

社長は、業界内で「技術を教える人が減少している」ことに危機感を覚えていると言います。「他社の技術者であっても、意欲ある人から要望を受ければ、知っている技術はすべて教えていくつもりです。次の世代に技術を伝承することが非常に重要だと考えています」。自社だけではなく、業界全体の発展へ向けた活動を続けていく方針です。

高い技術力と工場認定の取得などを通じてコンプライアンスの強化で、(有)タケモト車体は顧客からの信頼を獲得してきました。「今後、事故は減少していくと考えられますが、対応できる車種やサービスを拡充していくことで、事業の拡大を目指していきます」。これからも自社、そして業界全体の発展を目指した歩みを着実に進めていく構えです。



竹本行雄社長（前列中央）とスタッフの皆さま



接客スペース



工場内部



## NGP組合員 かわら版

平成30年度NGP提携リビルトメーカー合同会議を開催

### リビルト部品の販売促進を目指した議論を展開

(株)NGP(佐藤幸雄社長)は4月26日、AP品川(東京都港区)で同社提携リビルト部品メーカーとの「平成30年度NGP提携リビルトメーカー合同会議」を開催しました。

冒頭、挨拶に立った佐藤社長は「今、自動車リサイクル業界は厳しい状況にあります。NGPと提携リビルトメーカーが一体となり、情報を共有することで、

この環境を乗り越えていきたいと思います」と、会議の開催意図を示すとともに、活発な議論を促しました。

その後、各種販売実績データ、フロントマン・アンケート結果、リサイクルパーツ業界全般の動向などについて議論が交わされ、今後のリビルト部品拡販につながる、有意義な会議となりました。



### 第30回基礎研修会を開催

### NGPグループの基本理念を体得

NGP協同組合の第30回基礎研修会が、5月20～22日の3日間、しあわせの村(兵庫県神戸市)で開催され、NGP組合員各社の新入社員を含む総勢69名が受講しました。この研修会は、NGPグループの基本理念とともに、社会人として必要不可欠な礼儀作法を学ぶことを目的としたものです。

受講生はまず全体挨拶訓練を受け、その後5つの班に分かれ、ラジオ体操・挨拶からなる団体訓練を受けます。

挨拶のタイミングやお辞儀の角度、整列位置を各班の全員が完璧に「合わせる」ことで、NGP全組合員が品質を「合わせる」とその重要性を体得します。

また、夜からの暗記試験では、NGP三大信条やお客様第一10ヶ条など、与えられた課題を一字一句間違えずに暗記することを求められます。初めて顔を合わせる受講生同士が協力し、厳しい課題をともに乗り越えていくことで、仲間同士の強い絆とともにNGPの一員としての意識が育まれていきます。

修了式では、(有)ポプラの堤雄一さんが「今回出会えたメンバーとは、未永く、切磋琢磨し合い、伸ばし合っています」と、研修で出会った仲間とともに成長していく決意を表明しています。(株)エビスの胡大伸さんは「一つひとつの仕事の意味を考え、自分はNGPグループの一員だということを忘れずに働きます」と、日々の仕事に対する考え方を見直しています。

研修終了後の感想として、(株)コマゼンの齋藤健太さんは「皆と行動を合わせるためには、心を一つにしなければいけないということを知りました。会社に戻っても研修で学んだことを生かし、上司や同期としっかりと足並みをそろえていきたいと思えます」と、心を一つにすることの重要性を実感しています。(有)メタルオート北陸の開地将さんは「基礎研修で時間をムダにしないことを学びました。時間をムダにせず、効率よく仕事をこなせるように精進し続けていきたいと思えます」と、業務に臨む姿勢が変化しています。



修了式で、NGPの今後を担う受講生を激励する佐藤幸雄理事長



訓練に臨む受講生たち

### 締め切り迫る!!「NGPサマージャンボキャンペーン2018」

「NGPサマージャンボキャンペーン2018」は6月30日(当日消印有効)まで、ご応募を受け付けております。

期間中NGPのリユース部品1点ごとに必ず添付されるガランティシールを3枚集め、キャンペーン告知チラシ裏面の応募用紙に貼り付けてご応募いただきますと、抽選で合計750名の方に「サマージャンボ宝くじ」をプレゼ

ント致します。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト(<http://www.ngp.gr.jp/>)からダウンロードすることも可能です。

お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。



### NGP 今月のCO<sub>2</sub>削減量



リユース部品利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

平成30年4月:

**3,004t**



リターナブル梱包材利用に伴うCO<sub>2</sub>削減量

平成30年4月:

**3.9t**

※自動車リサイクル部品産業共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目(左右ある部品を含む115品目)を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO<sub>2</sub>排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

## NGP組合員 かわら版

### 東京都足立区「地球環境フェア2018」に出展 VRを使いNGPリサイクル部品をPR



NGP協同組合は5月19・20日に、東京都足立区役所内で開催された「地球環境フェア2018」に出展しました。

同イベントは、環境意識の向上及び環境活動への呼びかけを目的としたものです。5回目の出展となるNGPは、リサイクル部品の生産～出荷までの工程をVR（バーチャルリアリティ）で体験できる「VR自動車リサイクル工場見学体験」を

展開しました。VRを初めて経験された年配の方々やお子様にも好評をいただき、リサイクル部品の徹底した品質管理体制に大きな関心が寄せられました。

さらにブース内ではリサイクル部品の環境貢献やNGP協同組合の取組みを紹介するとともに、全国ネットで放映中の「廃車王」のCMを流すことで、サービスの認知向上に努めました。

平野泰雄・総務広報委員会副委員長は「幅広い世代にNGPの活動を直接伝えることができた貴重な場になりました。今後も様々な活動を通してより多くの方々に自動車リサイクル部品を紹介していきたいと思います」と話しています。

### 2018年ベルマーク運動説明会に各地のNGP組合員が出展 全国のPTAにNGPリユース部品の活用を訴求



NGP協同組合が協賛団体として2012年より加入しているベルマーク教育助成財団（銭谷眞美理事長）は、5月8日から6月21日まで、全国95会場で「2018年ベルマーク運動説明会」を開催しています。NGPは全国24カ所の会場に出展し、全国のPTA役員へ向けてNGP協同組合の取り組みやサービスをPRします。

5月18日に千葉県教育会館新館（同

県千葉市）で開催された説明会には、NGP協同組合の平野泰雄・総務広報委員会副委員長が出席しました。

平野副委員長は協賛企業挨拶で「廃車王」CMとそのサービス内容を紹介し、「NGPリユース部品を利用することで、新品部品の製造による環境負荷を抑えることができるため、地球環境保全に貢献できます。さらに値段も新品部品より安

価です。お車の修理の際には、ぜひNGPのリユース部品をご用命ください」と、NGPリユース部品の品質と環境性を解説しました。

また協賛企業ブースでは、リサイクル部品の環境性や廃車王のサービス内容などを紹介するリーフレットを、来場者一人ひとりに手渡しています。

## プレゼントクイズ

Q. これは、  
どの車種の一部？



## クイズに正解した方の中から、抽選で3名様にクオカード1万円分をプレゼント！

下記の応募用紙に解答と必要事項を記入して、FAXにて「プレゼントクイズ」係までお送りください。  
ご応募の締め切りは7月25日到着分までとさせていただきます。  
正解はNGP8月号にて発表いたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

### 「プレゼントクイズ」係 応募用FAX番号 03-5475-1209

| 解答                   | お名前 | 職業 | 電話番号 | 年齢 | 性別  |
|----------------------|-----|----|------|----|-----|
|                      |     |    |      | 歳  | 男・女 |
| 住所：〒                 |     |    |      |    |     |
| NGPニュースで取り上げてほしいテーマ： |     |    |      |    |     |

※ご記入いただいた内容は賞品の抽選・通知・発送のほか、今後の本サービスの参考とするためにのみ使用させていただきます。

■NGPニュースNo.325（2018年4月号）プレゼントクイズの正解は三菱のコルトで、応募総数は81件でした。  
神奈川県・兵庫県・福岡県在住の方3名様に1万円相当のクオカードをお送りします。今後も奮ってご応募下さい。

## 訃報

30年5月9日、株式会社紀南パーツ（和歌山県日高郡）代表取締役 河村武志様の御尊父様・同社取締役会長 河村英夫（かわむらひでお）様 がご逝去されました（86歳）。  
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

30年5月15日、株式会社南商会（北海道札幌市）代表取締役 南竜也様の御尊父様・同社取締役会長 南可昭（みなみよしあき）様 がご逝去されました（82歳）。  
慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

### NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209  
http://www.ngp.gr.jp/

### 株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F  
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201  
http://www.ngp.co.jp/